

日本高齢期運動連絡会ニュース

発行責任者 武市 和彦
〒164-0011 東京都中野区中央5-48-5 シャンポール中野504号
Tel/fax03-3384-6654 E-Mail nihonkouren@nifty.com
http://www.nihonkouren.jp

発行：隔月1回
2019年6月1日
No.337



5・18「第28期日本高齢期運動連絡会総会」議案提案 武市事務局長
＝新日本婦人の会中央本部会議室（記事P1）

まちから村からの連帯でひとりぼっちの高齢者をなくそう 後期高齢者医療2割化反対の取組み強化 5・18「第28期日本高齢期運動連絡会総会」報告 福島大会を延べ4000人の参加で成功させよう

日本高齢期運動連絡会

日本高齢期運動連絡会は、2019年5月18日（土）10時30分より、東京茗荷谷の新日本婦人の会中央本部会議室で「第28期日本高齢期運動連絡会総会」を開きました。



【総会議事録】

- 1、日時 2019年5月18日（土） 10時30分～12時30分
- 2、場所 新日本婦人の会中央本部会議室

3、参加者 48人

- 都道府県高連…青森・秋田・山形・福島（2）・群馬・栃木・茨城・埼玉・東京（2）・神奈川・新潟（2）・富山・長野・静岡・愛知・三重・京都・大阪・奈良・兵庫・島根・広島・香川・徳島・愛媛・大分・沖縄 〈27都府県30人〉
- 中央団体…医福連・民医連・年金者組合・建交労・全生連・新婦人・サポートセンター 〈7団体7人〉

○代表委員 (4) 事務局 (4)

○来賓 山添拓参議院議員 秘書為我井秘書
赤旗しんぶん (取材) 3人

4、議事

(1) 開会あいさつ



▲林 代表委員

10時30分定刻に林泰則日本高連代表委員 (全日本民医連事務局次長) が開会を宣言し、「全世代型社会保障」の危険な内容について説明、安倍内閣退陣を求める国民と高齢者の声をあげ、参議院選挙で答えを出そうと挨拶しました。

(2) 議長選出

引き続き、議長提案を行い、田中英男日本高連事務局次長 (茨城高連) を提案し、満場の拍手で確認しました。



▲山添 拓 参議院議員

(3) 来賓あいさつ

日本共産党参議院議員山添拓氏から連帯のあいさつがありました。

(4) 議案提案

武市和彦事務局長が以下の議案を提案しました。

【第1号議案】第27期活動報告ならびに第28期活動方針確定の件

【第4号議案】役員改選の件

中山晴夫事務局次長が以下の議案を提案しました。

【第2号議案】第27期会計報告ならびに第28期予算確定の件

(5) 質疑・討論 質問を含めて以下の10名が発言しました。

① (年金者組合) 年金裁判では札幌地裁で我々の主張を全く却下するひどい判決が出た。安倍内閣への付度裁判長と言える。大阪地裁で井上先生はじめ証人尋問が始まった。憲法

25条を守る闘いとして頑張らしましょう。

② (静岡) 熱海大会は地元ということで不備な点もあったが頑張った。熱海高校のエイサーは感動、高校生たちも感激していた。県高齢者大会は磐田市で6/8。全国母親大会も8月に行われる。

③ (新婦人) 維新の会丸山議員の戦争発言に怒り。地元県本部で辞職要求。子ども向け絵本「はたらく自動車」に自衛隊の戦車や護衛艦 (空母) が載っている。安倍改憲策動の一環。出版社に抗議した。

④ (埼玉) 国保は県内63自治体で31自治体が引き上げ。県は「法定外繰り入れを6年間で無くせ」という通達をしている。そういう中でも革新市政の蕨市は低く保っている。12/2県高齢者大会。

⑤ (三重) オスプレイが三重県上空に頻繁に来ている。県母親大会への後援を断る自治体が増えている。特養ホームの待機者6000人だが、県では238人と低く言っている。統計上のごまかしだ。

⑥ (サポートセンター) 4月に行われた国連高齢者人権条約制定へのワーキンググループに今年も10人が参加。少しずつだが前進してきている。福島大会で高齢者憲章のバージョンアップと合わせて分科会を持つ。

⑦ (大阪) 75歳以上2割負担反対署名は2万目標で現在6000。

⑧ (神奈川) 75歳署名は県で70000になった。去年6月にスタート集会行い、毎月の宣伝行動では保険医協会の先生方が頑張ってくれた。9月に後期高齢者医療の不服審査請求書を248名が提出した。

⑨ (秋田) 25自治体中22の自治体で後期高齢者医療2割化反対又は現状維持の国への意見書採択している。自治体キャラバンで丁寧な説明をした。県広域連合議会では否決された。広域連合議会の構成を変えていく必要。

⑩ (大分) 国保では県・市の担当者が「これ以上の負担は押し付けられない」と言っている。大分市は100円のワンコインバスを値上げし、対象も65歳から70歳以上に引き上げようとしていて、反対運動している。

(6) 討論のまとめ

武市事務局長代理が討論のまとめを行い、
 ①参議院選挙で安倍内閣Noの審判を、
 ②後期高齢者医療2割化反対取組強化、③福
 島大会4000名の成功を、④地域の高齢者の実
 態をつかみ自治体要求を 等を訴えました。

(7) 議案採択

議長が拍手による一括採択を提案し、
 第3号議案監査報告、第5号議案総会アピール

を含む全議案が満場一致で採択されました。

(9) 議長解任

議長が議事進行への協力のお礼と、一
 年間頑張ろうという挨拶を述べました。

(10) 閉会あいさつ

松本弘道代表委員（日本医療福祉生活協同
 組合連合会 常務理事）が閉会のあいさつを行
 い、12時30分に総会を終了しました。



▲年金者組合 金子さん



▲静岡 小高さん



▲新日本婦人の会
山元さん



▲埼玉 保土田さん



▲三重 寺崎さん



▲サポートセンター
鐘ヶ江さん



▲大阪 伊藤さん



▲神奈川 大河原さん



▲秋田 大坂谷さん



▲大分 松井さん



▲議長 田中英男さん



▲閉会あいさつ
松本代表委員

みんなで築こう！憲法輝く原発ゼロの日本 長寿をともに喜びあえる社会

第33回日本高齢者大会in福島 第2回中央実行委員会

第33回日本高齢者大会in福島 中央実行委員会

第33回日本高齢者大会in福島第2回中央実
 行委員会総会が2019年5月18日（土）午後1時
 30分から新日本婦人の会中央本部で行われま
 した。



議事録

1、日時 2019年5月18日（土） 13時30分

～15時30分

2、場所 新日本婦人の会中央本部会議室

3、参加者 45人

○都道府県高連…青森・秋田・山形・福島

(2)・群馬・栃木・茨城・埼玉・神奈川・

東京・新潟(2)・富山・長野・静岡・愛知・

三重・京都・大阪・奈良・兵庫・島根・広島・

香川・徳島・愛媛・大分・沖縄

(27都府県29人)

○中央団体…医療福祉生協連・民医連・年金者組合・建交労・全生連・新婦人・婦人民主クラブ・サポートセンター (8団体8人)

○代表委員 (3) 事務局 (4)

○取材 赤旗しんぶん

4、議事

(1) 開会あいさつ



▲小嶋代表委員

午後1時30分定刻に、小嶋満彦代表委員（東京高齢期運動連絡会副会長）が開会を宣言し、挨拶しました。

(2) 議長選出
引き続き、議長提案を行い、寺崎由郎日本高齢期運動連絡会事務局次長（三重県高連）を提案し、満場の拍手で確認しました。



▲金子中央実行委員長

(3) 中央実行委員長あいさつ

金子民夫中央実行委員長（全日本年金者組合委員長）があいさつし、情勢からいっても9月の福島大会は非常に重要な時期に開かれると強調、12月の第1回総会以降準備を着々と進めてきた現地福島の皆さんに感謝するとともに、参加者組織など強める必要を訴え、成功へ向けた意思統一を行うことを期待すると述べました。

齋藤直哉福島実行委員長があいさつし、毎月実行委員会を開催し、全体会・講座分科会の内容、宣伝物、県や市への後援依頼等進めてきたこと、全国の皆さんにたくさん来てい

(4) 福島実行委員長あいさつ

齋藤直哉福島実行委員長があいさつし、毎月実行委員会を開催し、全体会・講座分科会の内容、宣伝物、県や市への後援依頼等進めてきたこと、全国の皆さんにたくさん来てい

ただきたいと期待を述べられました。

(5) 議案提案

武市和彦事務局長が以下の議案を提案しました。

【第1号議案】福島大会の参加要項

【第2号議案】福島大会の成功に向けた今後の強化点

①参加目標集約は37県1986人。2000人達成へ参加目標を引き上げ、県高連では200人増、中央団体で200人増を。

②そのため参加ゼロ県を無くすこと。ブロック単位では北海道東北+50、関東甲信越+90、北陸東海+30、近畿+30 を願う。

③福島大会の開催意義を再度確認し取り組みを

原発事故9年目、福島の今を直視し、原発ゼロのたたかいを発信する大会

参議院選挙で勝利し、9条改憲No、社会保障改悪ストップ、安倍内閣を退陣に追い込む大会

④福島大会の内容をひろげながら参加者を増やしてください～全体会の安齋先生講演、講座分科会の豊富な講師陣、楽しい夜の企画、事故原発巡る移動分会等々。

中山晴夫事務局次長が以下の議案を提案しました。

【第3号議案】熱海大会決算最終報告と福島大会修正予算案について

(6) 質疑・討論 質問を含めて以下の9名が発言しました。



▲橋本 福島実行会
事務局長

①福島実行委員会橋本事務局長より、講座分科会の説明、移動分科会について、交通手段、宿泊地について等説明

②（愛知）バスか新幹線かで協議中。年金者・退職者会・医療生協で取り組む

③（青森）東北開催なので二けたは行きたい。28人乗りバス1台目標

④（京都）40人目標。2日目午後は独自で被災地見学し福島県内に宿泊、郡山から熱海の電車は大丈夫か

⑤（富山）後泊し、26日午後被災地見学を行う。ガイドを現地に頼む

⑥（大阪）80人目標。飛行機で45人、他に個人参加が35人で取り組んでいる

⑦（埼玉）90人目標。熱海は73人だった。大宮から近いので参加しやすい

⑧（東京）400人目標。熱海は320人だった。バス参加は2台で大会後被災地見学し、いわき市に泊まる。11/20に東京の高齢期のつどい

⑨（広島）30人目標。医療生協中心で取り組む

☆そのほかの質問に対して

○磐梯熱海の泉質は＝アルカリ性単純温泉

○磐越西線の増結のメドは＝要請中・だめなら善後策考える ○郡山～熱海のタクシーは＝5500円前後 ○旅館は県でバラバラになら

ないように＝大丈夫です

（6）討論のまとめ

武市事務局長が議論のまとめを行い、参加目標アップと参加組織に全力をと訴えました。

（7）議案採択

議長が拍手による一括採択を提案し、満場の拍手で全議案が採択されました。

（8）議長解任

（9）閉会あいさつ

大河原貞人事務局次長が、閉会のあいさつを行い、安倍内閣の攻撃に抗する大会だ、原発ゼロも政治的に重要、楽しい大会にしようと呼び、午後3時30分に総会を終了しました。



▲愛知 大鶴さん



▲青森 二川原さん



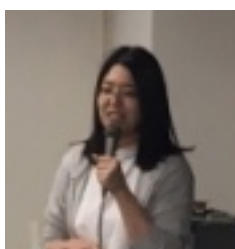
▲京都 北村さん



▲富山 寺跡さん



▲東京 三好さん



▲広島 松岡さん



75歳以上医療費負担2割化反対署名46万筆！

5/22 署名提出国会行動行われる

中央社保協・全日本民医連・全労連・東京社保協・日本高連

「社会保障拡充25条署名、介護改善署名、後期高齢2割負担反対署名提出行動」が5月22日午前10時半から参議院議員会館大会議室で

行われ、152人が参加しました。

主催は中央社保協、全日本民医連、全労連、東京社保協、日本高齢期運動連絡会です。



日本高齢期運動連絡会からは年金者組合・東京高齢期運動連絡会はじめ約20人が参加しました。

全国から集められた75歳以上医療負担2割化反対署名はこの日までに46万7562筆となりました。

当日持参・集約が13万3649筆ありました。保団連の患者負担増反対署名15万筆を含みます。これはこの2割化案に対して多くの高齢者が怒りと不安を抱いていることの証明です。政府厚労省は直ちにこの2割化の動きを中止すべきです。

会では日本高齢期運動連絡会代表委員・年金者組合委員長の金子民夫さんが開会のあいさつ。

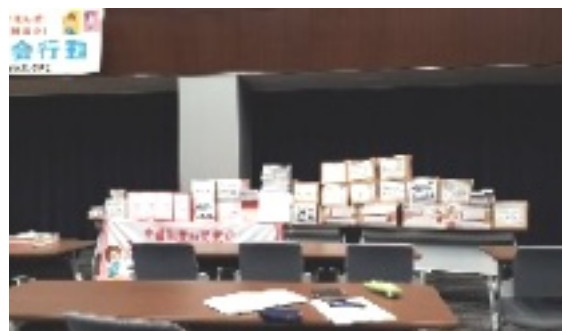
NPO法人医療制度研究会副会長の本田宏さんの「平成から令和へ 消費税&医療・社会保障改悪どうする」と題して学習講演があり、今後のたたかいの方向を笑いの中で示していただきました。



日本共産党倉林明子参議院議員、紙智子参議院議員、清水忠史衆議院議員、国民民主党下条みつ衆議院議員のあいさつの後署名提出が行われました。(写真)

その後参加団体からの発言では、日本高齢期運動連絡会の中山事務局次長が発言。

約10か月間の活動で46万の署名が集まったのは神奈川をかわきりに全国の高齢期運動連絡会・年金者組合・保団連（保険医協会）・社保協の活動の力の結集であるとともに、高齢者の怒りが沸き上がっていることだと訴え、財務省が4月23日の財政制度審議会分科会で「まずはできる限り速やかに2割負担とすべきだ」とハッパをかけていること等参議院選挙後にも2割化の動きを強めようとしており、引き続き各自治体議会の意見書採択要求や老人クラブへの申し入れ等2割化阻止の運動を広げていこうと訴えました。



(なお2割化反対署名には日本共産党の多くの議員さん、立憲民主党・国民民主党・社民党・旧自由党の議員さんにも紹介議員となっていていただいています。)

第 33 回日本高齢者大会 in 福島

こらっしょ！ 福島へ

推進ニュース 2019.5.18 no.1

○開催まであと 4 ヶ月～急ピッチで準備進む

☆中央の援助のもと、現地福島実行委員会を毎月開き、全体会、学習講座・分科会、25 日夜の催し等の内容、話し手をほぼ確定。あとは、全国から 1500 人を超える参加をお待ちするばかりになりました。

☆原発被災地「ふくしま」ならではの内容が随所に

原発事故をもたらした福島の実相と原発ゼロへの思いを文字通り発信する内容に。原発テーマの記念講演、学習講座に加え、閉幕時の合唱も「ふくしまに生きる」を。4000 人の原告団長をつとめる生業訴訟の中島孝団長が全体会、25 日夜の交流会で挨拶。農業をテーマにした分科会では、国・東電を相手に損害賠償の闘いを進めてきた福島県農民連根本会長熱く語る・・・等々を企画。何よりも原発事故周辺を巡る 26 日の移動分科会は大型バス 6 台（300 人）を準備。25 日夜の利き酒コーナーでは、原発事故被害を乗り越え金賞受賞した郡山の銘酒を準備しました。

☆これまでになく女性の話し手も多彩

第一日目の全体会で若者代表の松本女子さんが特別報告に。憲法 25 条関連の第 2 分科会では福島市の理不尽な生活保護行政を告発する 30 代の関根未希弁護士や国保事業の問題点を浮きぼりにする山本全日本民医連事務局次長。また憲法テーマの学習講座で福島在住の二瓶由美子大学教授が講話。25 日夜の原発訴訟の交流会には群馬訴訟の先頭に立っている丹治杉江さんが。さらに、同夜の「終活」講話に福島市民後見サポートの会の遠藤喜恵さんがと、多彩な女性が登壇予定です。

☆「宿泊費、13,000 円は高い？」

磐梯熱海温泉旅館協同組合の協力で宿泊申込の一括受付とともに、宿泊料金を昨年静岡・熱海大会と同額の 13,000 円に致しました。普段、13,000 円では受け付けない旅館を含め 12 の旅館が大会参加者を歓迎することになったものです。年金暮らしの高齢者にとって決して安くはない宿泊費ですが、ご理解とご協力をお願いいたします。

発行/福島実行委員会

TEL・FAX 024-954-5571

第33回日本高齢者大会in福島 【参加費・参加申し込み】について

(開催要項より抜粋)

- (1) 参加費 1人・1日＝2,500円 2日間＝5,000円
※移動分科会は別途必要です(当日払い)夜の企画で別途必要な企画があります
- (2) 宿泊費 1人・1泊2食 13,000円(消費税、入湯税込み)
※原則参加者は宿泊を実行委員会指定ホテル・旅館でお願いいたします。
- (3) 参加申し込み・宿泊申込
- ① 参加申し込み・宿泊申込は、都道府県ごとに、まとめてください。
- ② 「参加申込書」「宿泊申込書」(別紙)に記入し下記にFAXでお送りください。
※別々の申し込み先になります
- ・宿泊申し込み先 磐梯熱海温泉旅館協同組合 電話024-984-2182 FAX024-984-3056
 - ・参加申し込み先 第33回日本高齢者大会in福島・中央実行委員会 電話・FAX 03-3384-6654
 - ・申し込み期間(両方とも) 申し込み開始 7月1日(月)
第1次締切…7月31日(水) 第2次締切…8月26日(月)
以降、大会当日まで受け付けます
- ③ 宿泊費・参加費の支払い
- ・宿泊費は各県ごとに宿泊するホテル・旅館に直接お支払いください。
できれば当日現金支払いで 事前支払・送金も可です
 - ・参加費は中央実行委員会へ郵便振替(用紙同封)か銀行へ振り込んで下さい。
 - 郵便振込 00190-9-134760 日本高齢者運動連絡会
 - 銀行振込 三菱UFJ銀行 表参道支店 普通口座 1388607
日本高齢者大会中央実行委員会 藤谷 恵三
- ④ 移動分科会は「移動分科会参加申込書」(別紙)での事前申込みが必要です。
※申し込みは8月1日(木)10時から中央実行委員会にてFAX受付します。
定員になり次第締め切ります。
※移動分科会は午前8時出発ですので朝食を早めに(集合場所は後日指定)
- ⑤ 「参加のしおり」と「参加ワッペン」は参加見込み人数分を事前に送ります。
(8月下旬予定)
- ⑥ 各責任者は1日目に「総合受付」で受付してください。

【その他】

- (1) 交通について…各県での手配をお願いします。バス参加の場合はご連絡ください。
- (2) 物品販売やチラシ配布は、中央実行委員会にて認めたものに限りです。
- (3) 当日は「参加ワッペン」を胸に貼ってください。